

令和4年度 国立若狭湾青少年自然の家 教育事業  
 ～未来をつなぐ学び 若さで育まれるチカラを体感しよう～  
 「若狭地域の食文化の伝承 へしこ作り」(R4.4.29(金・祝)～4.30(土))

2022 4/29(金・祝)～4/30(土)  
 未来へつなぐ学び 若狭で育まれるチカラを体感しよう!～若狭から未来へ～

親子で  
 上手にさげられるかな  
 舟に「へしこみ」「へしこみ」  
 よっぱらい鯖にえさやり  
 矢代湾クルージング  
 11月には「なれずしづくり」も予定しているよ!

場所 国立若狭湾青少年自然の家、小浜市田島区内  
 対象 小学生を含むご家族 6家族  
 費用 子ども2,670円 大人2,700円(傷害保険料+食費)  
 体験料1家族1,500円  
 申込 WEBフォームよりお申込みください  
 \*4/15(金)12:00〆切 \*応募者多数の場合、抽選といたします。f=ja  
<https://forms.office.com/r/BYwNqjXKzR>

<主催> 国立若狭湾青少年自然の家  
 住所: 福井県小浜市田島区大浜  
 ☎0770-54-3100 wakasawan-sen@niye.go.jp  
 担当: 小川(おがわ)・島田(しまた)

◆目的

- ・親子が、SDGsの視点の要素を盛り込みながら、若狭地域の伝統的な食文化に触れることを通して、自分と身近な地域の魅力を再発見する。
- ・地域食材「へしこ作り」を通して、海の豊かさや森の豊かさを知り、大切にしていこうとする気持ちを育てる。【持続可能な消費と生産(12)】【海の豊かさを守ろう(14)】

◆参加実績

6家族	19名	(福井県11、滋賀県4、大阪府4)
未就学児	1名	
小学生	7名	
中学生	2名	
保護者	9名	



◆ 日程

	4月29日(金・祝)		4月30日(土)
午後	若狭湾の食文化「へしこ」を作ろう 講話・体験: 魚裁き、塩漬け体験 講師: 森下佐彦氏【民宿佐助】	午前	若狭湾の食文化「へしこ」を作ろう 講話・体験: 糠漬け体験 講師: 森下佐彦氏【民宿佐助】 海の豊かさを感じよう 体験: よっぱらい鯖餌やり体験 矢代湾クルージング 講師: 横山拓也氏【田島水産家具株式会社】
夜	海からの恵みで作品を作ろう(子ども) 体験: 貝殻ろうそく作り 講師: 自然の家職員 子どもの成長を支える体験活動(大人) 体験: 保護者交流会 講師: 自然の家職員	昼食	海の恵みをいただこう へしこちらし、よっぱらい鯖の刺身

◆参加者の声

へしこ体験の感想

- ・食べたことはあるけど、作る体験は初めてだったし、魚をさばくのも初めてだったので良いたいけんができました。(小5)
- ・分からない事は優しく教えてくれたしあんなことは二度とできないことなのでうれしいです。(小5)
- ・子どももゆっくりとですが捌いている姿を見ることができて、自信に繋がるのではと思った。(大人)

餌やり、クルージング体験の感想

- ・魚は海の中では緑色に見えました。左に回ってバチャバチャ食べていたのが面白かったです。(小2)
- ・餌をやると鯖がぐるぐる回るのが不思議だった。船で沖の石や自然の家を見れて、改めて海のことが知れて、

海のことが好きになった。(小5)

- ・ 一番楽しくて、娘とこんな絶景を見れて、人生の宝物です。(大人)

#### ビーチコーミングの感想

- ・ 自然に優しくしたいなあと思いました。(小2)
- ・ ごみはリサイクルできることは知っていたけど、サングラスやキーホルダーになるなんて知らなくてびっくりした。(小5)
- ・ 自分もしっかり環境問題の改善に向けてできることをしたいと考えました。(中2)
- ・ なぜ外国の物が流れ着いたのか、日本のせいもある。とても気になったので、娘と調べます！(大人)



#### 保護者の交流・子どもの成長をさせる体験活動レクチャーの感想

- ・ 言葉より、体験する力は子供たちの今後役に立つことがわかった。
- ・ 体験の重要性を認識でき、勉強になりました。
- ・ 他の家族の方とコミュニケーションが取れて良かった。
- ・ ママ友にも伝えます。会社のスピーチでも言います。「センス・オブ・ワンダー」絶対読みます。

#### 「食文化に触れ、地域の魅力を感じる」

- ・ とてもすてきな場所だと思うので、もっと地元の人に発信できるといいなと思います。
- ・ 嶺南にいながらよっばらい鯖を初めて食べました。こんなにおいしいものを知らなかったなんて！！まだまだ知らない福井がたくさんあると思いました。
- ・ 地域の魅力を知る上で食文化は大変重要だと思います。この2日間で様々なお話、体験を通じてしてきたと思います。
- ・ 実際に体験できたことによってみんなにもっと広めたい、自慢したい気持ちになりました。
- ・ 若狭の魅力をを感じる近年、歳をとると徐々に大切にしていきたい想いが大きくなっていきます。
- ・ 地域ならではの昔からの食文化が続いてきていることがすごいと思いました。大切に繋げようとしている地域の人々に感謝を感じました。

#### 海の豊かさを知り、大切にしていこうとする気持ちを育む

- ・ 自然を守る努力の上に、きれいな環境が保たれていることがわかりました。
- ・ 昨日の荒天と今日の晴天…。自然は思い通りにならないからこそ尊いですね。
- ・ 自分たちの未来につながる活動に、もう少し興味を持って生活していかなければならないなあと再確認できました。
- ・ 海洋プラスチック問題は気にしていましたが、改めて大切にすべきと思った。
- ・ クルージングやビーチコーミングを通して改めて自然の壊され方が大変であると思いました。

#### ◆成果

1日目が荒天で、2日目のプログラムが心配されたが、天候にも恵まれ、全行程が怪我なく終えることができた。参加者は県内、県外半数ずつで、いずれも若狭の食文化に興味をもって参加された方々であった。アンケートでは、9割以上満足の結果となり、事業が成功に終わったことは何よりであった。

今回、体験と共に、若狭地域の食文化を知ってもらうため、昼食にへしこやよっばらい鯖の料理を提供した。たいへん好評で、この土地ならではの食を味わってもらうことができた。また、漁船でのクルージングやビーチコーミングの活動を入れたことで、現地の海の美しさや豊かさを感じてもらうことができ、未来につないでいくことの大切さを感じてもらえた。

#### ◆事業運営のツボ・工夫・反省

へしこ作り講師の森下佐彦氏、餌やり体験・クルージング体験担当の横山氏と相談をして、参加者が楽しみながら伝統文化の大切さ、海の豊かさを感じられるプログラムとした。

「生きた鯖に餌やり」「魚裁き体験」「へしこ料理・刺身を実食」と、参加者に、魚が食卓に並ぶまでを体験してもらうことで、実生活とのつながりを感じてもらえるプログラムとした。

夜は親子別プログラムとし、親には交流の場と、「子供の成長を支える体験活動」について考える場を設けることで、体験活動の普及・啓発を行うことができた。

ビーチコーミングでは、体験の後に海洋ごみの実態について、写真等を用いて説明をしたり、アップサイクルの取り組みを紹介したりすることで、事業後に各家庭で「海の豊かさを守るために自分たちにできること」について取り組みを継続することを促した。